

大津市大腸がん検診受診にあたって（事前説明書）

大腸がんは、わが国においてがん死亡の上位に位置するがんです（女性1位、男性2位）。

便潜血検査による大腸がん検診は、死亡率減少効果があるとされています。大腸がんや大腸ポリープ等の病気を早期に発見し、早期に医療につなげるために実施しているため、検診の結果、「陽性（要精密検査）」となった場合は、必ず精密検査実施医療機関で精密検査（裏面参照）を受けてください。精密検査は保険診療となります。

※結果説明時に精密検査実施医療機関を紹介し、予約をとります。

◆検診方法：便潜血検査（2日法）です。

2日分の便を採取し、血液が混ざっていないかを調べます。

※以下の人は検診を受けずに、医師に相談してください。

- ・現在、痔疾患などで出血している
- ・ポリープ、腸からの出血を伴う疾患などで治療中・経過観察中である
- ・数年以内に全大腸内視鏡検査を受けた

※女性で、生理中の人は、血が混じり、陽性となる可能性が高くなりますので、採便しないでください。

《便潜血検査の注意事項》

★より良い精度で検診を受けていただくために、以下のことにご注意ください。

1. 便の表面のいろいろなところを、まんべんなくこするようにしてください。



2. 採取した便はできるだけ冷蔵庫または保冷剤を入れた保冷箱等で保管し、2日目の便が採取できたら、すみやかに医療機関に提出してください。提出当日及び前日の2日分の採便が望ましいですが、長くても採便から1週間以内に医療機関に提出するようにしてください。

◆検診料：800円

※70歳以上の人、生活保護世帯等・市民税非課税世帯の人、65歳～69歳の後期高齢者医療制度加入者は無料です。また、大津市国民健康保険加入者は助成があるため無料です。

なお、生活保護世帯等及び市民税非課税世帯の人は、検診票の「検診料減免確認承諾欄」に署名してください。

※大津市大腸がん検診の受診は1年度（4月1日～翌年3月31日まで）に1回です。便を提出した日（2日に分けて提出した場合は2日目の提出日）が検診日となりますのでご注意ください。

◆検診結果について

- 検診結果は、検体提出日から2週間程度でわかります。
- 検診結果は、検診を受けた医療機関から説明を受けましょう。
- 「陰性」の場合でも、大腸がんが100%ないということではありません。
また、がんがなくても「要精密検査」となることがあります。
- 便秘や下痢など気になる症状があれば、結果に関わらず医療機関を受診してください。
- 検診の結果が陰性でも、1年度に1回検診を受けましょう。

◆精密検査方法

精密検査方法の第一選択は全大腸内視鏡検査です。
便潜血検査をもう一度受けることは不適切ですので、必ず精密検査を受けてください。

■全大腸内視鏡検査

肛門から柔らかく細いカメラを空気と一緒に挿入し、カメラを通じて大腸の全体を観察する検査です。腸の長さにより多少時間は違いますが、通常約30分～1時間ほどかかります。



- 下剤を飲んで大腸の中をからにして行います。
- 検査の前に腸の動きを止めるような注射を打つ場合があります。

～便潜血検査の再検査が不適切である理由～

便潜血検査では、大腸がんやポリープなどからの目に見えない微量な出血がないかを確認します。大腸がんやポリープは常に出血しているわけではないため、再検査をして陰性であったとしても大腸がんの心配がなくなるわけではありません。

そのため、便潜血検査の再検査は不適切とされていますので、要精密検査となった場合は必ず精密検査（全大腸内視鏡検査）を受けるようお願いします。

